

枚方市新型コロナウイルス対策本部

枚方市長 伏見 隆様
枚方市教育長 奈良 渉様

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

新型コロナウイルス感染症対策にかかるコロナ検査の徹底と医療体制の拡大を（要請）

新型コロナの感染者が全国的に急増し、枚方市でも例外ではありません。医療現場のひっ迫やコロナ検査体制の遅れは、私たちの不安を増幅しています。

さて、3月から3度にわたり提出しました「新型コロナ感染症対策への要請」に対し、激務の中回答をいただき感謝いたします。回答文により枚方市の立場は分かりましたが、同時に新たに様々な意見や疑問が出てきています。それは、緊急事態宣言期間に生じた課題が解決していない状況下で、新型コロナの感染の拡大が進行しているからです。

介護現場の緊張感は継続し、事業所運営に支障をきたしています。学校現場では、教育の保障と感染対策に懸命な中、少人数学級になればよいとの声も良く聞きます。とりわけ切実なのは、検査態勢の徹底と医療体制の拡大を求める声です。

国は「感染拡大防止と社会経済活動の両立」を打ち出しています。これを実行しようとするなら、PCR検査をはじめとするコロナ検査の徹底と適切な隔離と治療、そして医療体制の拡大が前提です。発熱がコロナの疑いの最大要因にもかかわらず、いまだに厚生労働省のコロナ診断の手引きによる「疑いのある患者の要件」に従い、発熱しても濃厚接触者等や肺炎や重度の倦怠感などの明確にコロナと疑われる症状がない限り、検査は受けられません。

一方、市町村の独自の検査拡大の動きが加速しています。ある自治体では、社会的に必要な方には、症状の有無にかかわらず、いつでも、何度でも（定期的に）無料で受けることができます。人員を増強し検査機器を拡大購入し、地元医師会・大学病院との協力の動きもできています。そして、検査の無料化を継続するための国への働きかけが始まっています。

大阪府は5月に、新型コロナウイルスの感染を調べるPCR検査の態勢を拡充するため、保健所を介さずに検体の採取や検査を行う「地域外来・検査センター」を設置する方針を出し、コロナ第2波に備え検体採取を集中的に行う「地域外来・検査センター」を府内全域の8医療圏に設置し一日の検査能力は最大3500件を目指す方針と聞いています。

下記内容を要請いたします。8月31日までに文書での回答及び、対話の場の設定をお願いいたします。

記

1・コロナ検査は公費による完全無料の検査とし、検査基準を少なくとも発熱したら直ちに検査を受けられようにするなど、必要な人すべてに検査を行なうこと。

2・検査態勢の強化として人員を増強し検査機器を拡大購入し、検査検体数の大幅な増加を図ること。

大阪府の検査体制の強化に枚方市はどのように関わり、どのような動きになっているか具体的に教えてください。

3・社会的要請で接触を避けることが困難な職種（医療、介護施設、保育施設等福祉施設、学校等）の従事者についてはただちに全員検査を行なうこと。また、必要な場合は何度でも検査を行なえること。

4・今後、感染者の拡大を減らすために、感染者を早期に確定し適切な隔離と治療を行うためのPCR検査、抗体検査の活用が必要です。そのためには、検査場所の確保や人員配置が必要ですが、枚方市の見解をお示しください。

5・新型コロナの感染拡大でコロナ感染者を受け入れた病院の疲弊が問題になり、一般の病気の手術の時期を延期させられた市民がいる。枚方市内の病院の実態をどのようにとらえているか教えてください。また、必要に応じ「国」「大阪府」と協力し病院の経営支援と医療従事者の待遇改善を行うこと。

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

枚方市大垣内町2丁目8-27 シンエービル別館A号室 (市民の広場「ひこばえ」)

電話・FAX 072-846-8780 アドレス: { HYPERLINK

"mailto:hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp" }

連絡先 松田久子 (090 - 9705 - 5921) 高松昌子 (090 - 7096 - 4719)